

つかはらしゆつど す え き  
塚原出土の須恵器

野口元町 野口ふれあい交流センター歴史文化展示室  
市指定有形文化財（考古資料）

昭和 42 年 4 月 11 日指定

昭和 33 年（1958）1 月、国指定史跡鬼ノ岩屋 1 号墳の西側で耕地整理の際発見された一連の遺物である。これらの出土遺物は、6 世紀中葉から 7 世紀初頭にかけて使用されたと考えられ、ほとんどが完全な形で発見された。

器種は、須恵器の坏身、坏蓋、高坏、脚坏壺、<sup>はそう</sup>甗、<sup>よこべ</sup>横瓶、<sup>さげべ</sup>提瓶、<sup>ひらべ</sup>平瓶、<sup>はじき</sup>直口壺、壺、土師器の長頸壺などがみられる。

ほとんどの遺物が完形で発見されていることや、時期的な範囲を考えると鬼ノ岩屋 1・2 号墳に伴う祭祀遺物と考えられるが、出土位置が 1 号墳西側約 50 m となっていることから、周辺部の未発見古墳に伴う可能性も考えられる。



（事務局）